

2020年3月期 第2四半期決算説明会

挑戦と創造

2019年11月18日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

1. 2020年3月期 第2四半期実績
2. 2020年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 中期経営計画C & C2000の進捗
5. 配当について

1. 2020年3月期第2四半期 連結決算の概要

[単位:百万円]

	2019/3期 第2四半期		2020/3期 第2四半期				
	実績	率	計画	実績	率	伸率	達成率
売上高	90,832		95,200	91,848		1.1%	96.5%
営業利益	9,670	10.6%	10,300	10,005	10.9%	3.5%	97.1%
経常利益	10,109	11.1%	10,500	10,502	11.4%	3.9%	100.0%
四半期純利益※	6,044	6.7%	6,400	6,582	7.2%	8.9%	102.9%

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

[一株当たり単位:円]

一株当たり四半期純利益	92.58	-	98.02	100.82	-	8.9%	102.9%
-------------	-------	---	-------	--------	---	------	--------

1. 第2四半期 連結決算の概要

伸び率

売上高	+1.1%	10期連続増収
営業利益	+3.5%	10期連続増益
経常利益	+3.9%	10期連続増益
四半期純利益※	+8.9%	4期連続増益

売上	: 7期連続 過去最高を更新
営業利益・経常利益	: 8期連続 過去最高を更新
四半期純利益※	: 3期連続 過去最高を更新

※親会社株主に帰属する四半期純利益

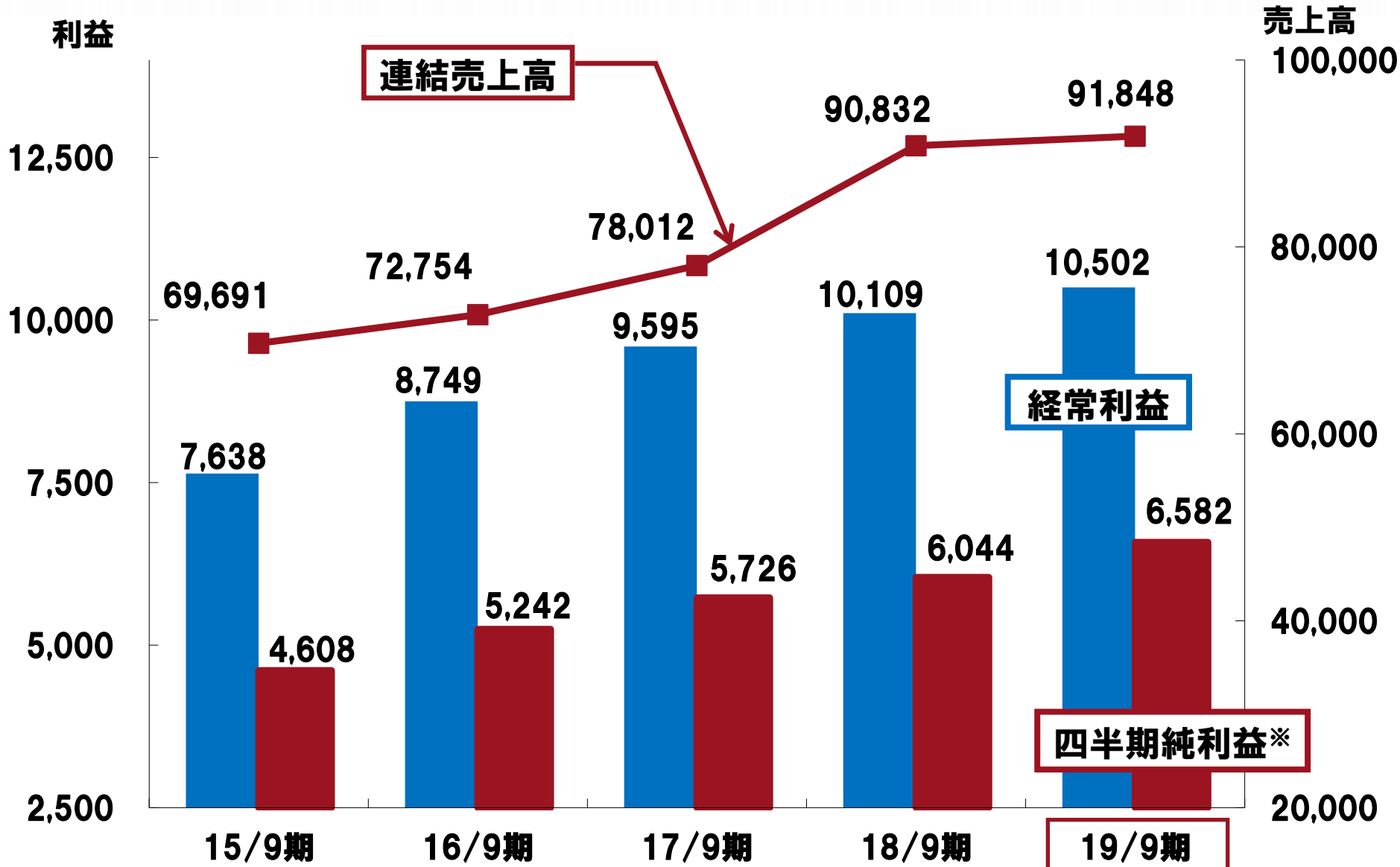
■国内事業:住宅向け 好調、非住宅向け 低調

■海外事業:一部地域で景気減速

タイ・ケミカル社、ソイス社の新規連結 寄与
東南アジアにおける化粧板販売 好調

[単位:百万円]

1. 第2四半期 連結決算の推移



1. 第2四半期 主要項目の状況

	2017/9期	2018/9期	2019/9期
	連結	連結	連結
設備投資額	19.7億円	32.7億円	39.3億円
減価償却費	17.0億円	19.6億円	20.9億円
研究開発費	13.0億円	15.3億円	16.3億円
借入金残高	20.7億円	47.8億円	60.2億円
期末人員			
国内	1,563人	1,599人	1,672人
海外	1,852人	2,284人	2,430人
合計	3,415人	3,883人	4,102人

[単位:百万円]

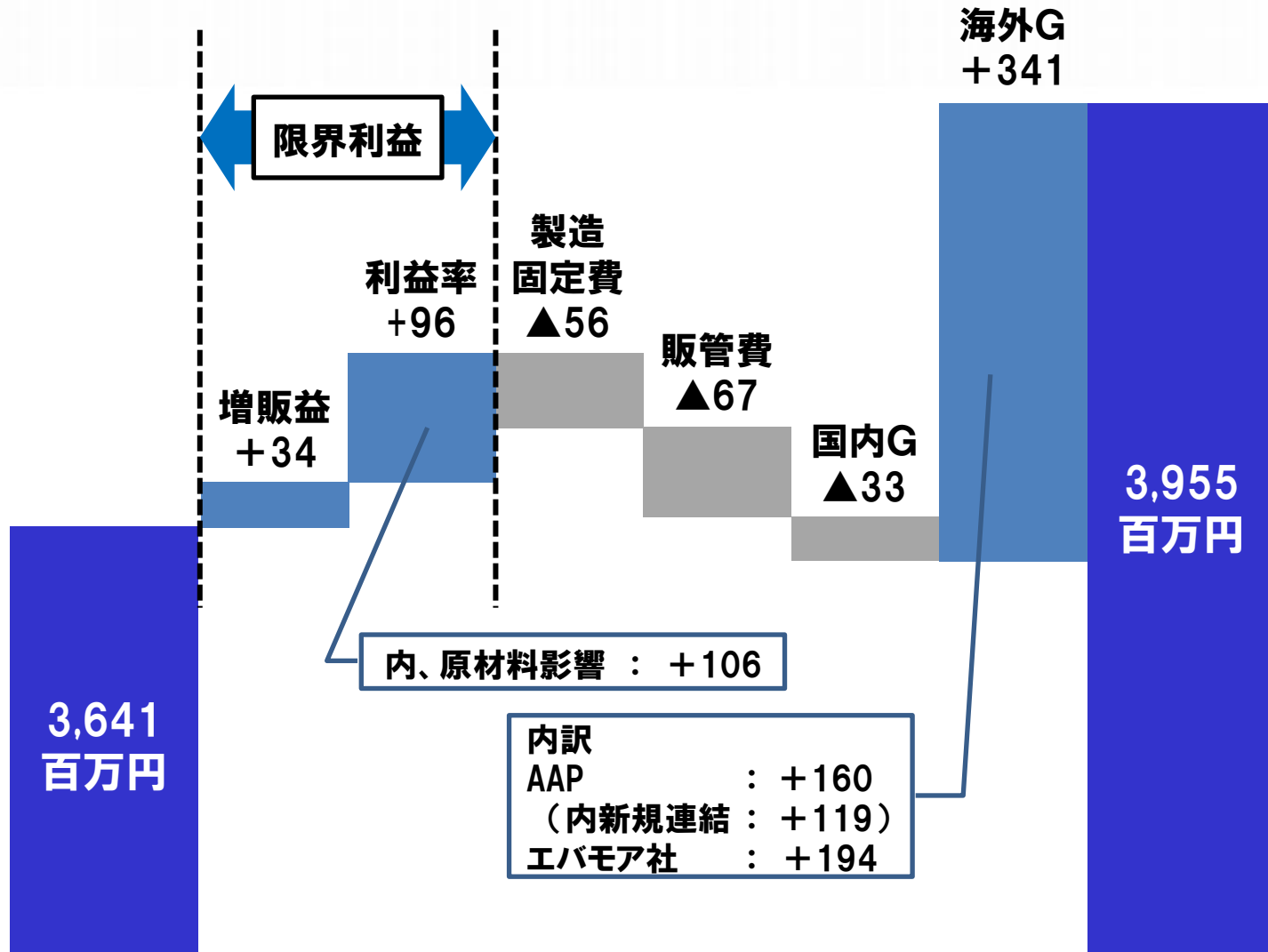
1. 第2四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益			
	2018/9期 実績	2019/9期 計画	2019/9期 実績	2018/9期 実績	2019/9期 計画	2019/9期 実績	
化成品	52,176	54,500	51,349	3,641	3,930	3,955	金額
				7.0%	7.2%	7.7%	利益率
建装建材	38,656	40,700	40,498	7,289	7,680	7,406	金額
				18.9%	18.9%	18.3%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,261	▲ 1,310	▲ 1,356	金額
合計	90,832	95,200	91,848	9,670	10,300	10,005	金額
				10.6%	10.8%	10.9%	利益率

1. 利益増減(化成品) <18/9期vs.19/9期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



18/9期

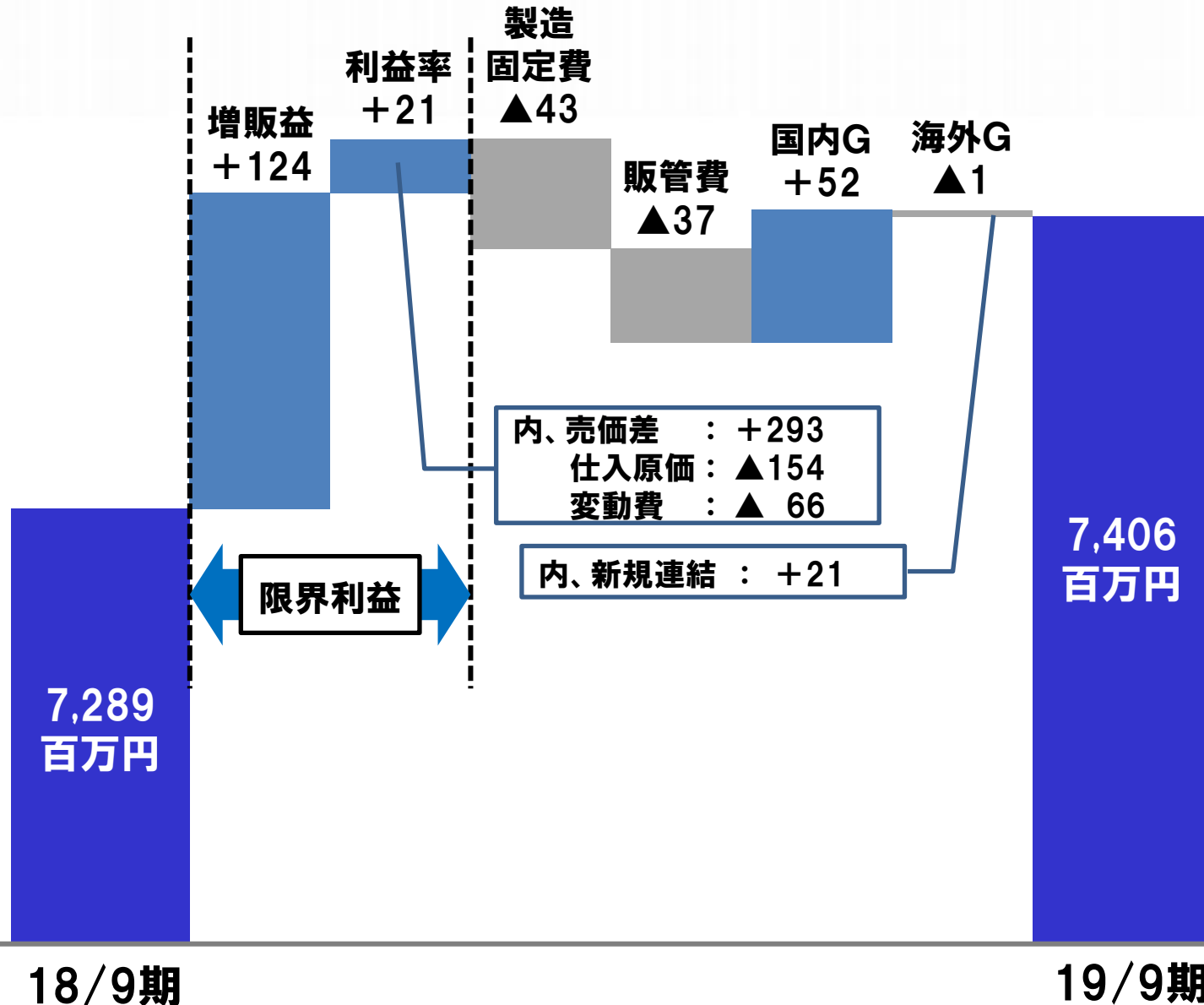
19/9期

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

1. 利益増減(建装建材) <18/9期vs.19/9期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



1. 2020年3月期 第2四半期実績
- 2. 2020年3月期 通期計画**
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 中期経営計画C & C2000の進捗
5. 配当について

2. 2020年3月期 経営環境予測

国内建設市場

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

2019年3月期(実績)	住宅:▲2.8%	非住宅:+ 2.2%
2020年3月期(期初予想)	住宅:±0.0%	非住宅:▲1.8%
2020年3月期(最新予想)	住宅:▲3.5%	非住宅:▲3.6%

海外市場

一部に景気の減速は見られるものの、底堅い成長を持続

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は僅か

2019年3月期(実績)	1USD=110.56円
2020年3月期(期初想定)	1USD=108.00円
2020年3月期(最新想定)	1USD=108.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2019年3月期(実績)	51,000円/kl
2020年3月期(期初想定)	45,750円/kl
2020年3月期(最新想定)	41,500円/kl

2. 2020年3月期計画

[単位:百万円]

	2019／3期 実績		2020／3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売上高	191,363	-	195,000	-	1.9%	3,636
営業利益	20,834	10.9%	21,800	11.2%	4.6%	965
経常利益	21,249	11.1%	22,000	11.3%	3.5%	750
当期純利益※	13,316	7.0%	13,800	7.1%	3.6%	483
R O E	10.7%	-	10.7%	-	-	-
R O A	7.0%	-	7.1%	-	-	-
一株当たり純利益	203.95円	-	211.35円	-	-	-
一株当たり株主資本	1,936.87円	-	2,022.26円	-	-	-
研究開発費	32.0億円	-	34.0億円	-	-	-
減価償却費	41.7億円	-	48.0億円	-	-	-
設備投資額	78.9億円	-	60.0億円	-	-	-

※:親会社株主に帰属する当期純利益

2. 2020年3月期 通期セグメント別業績計画

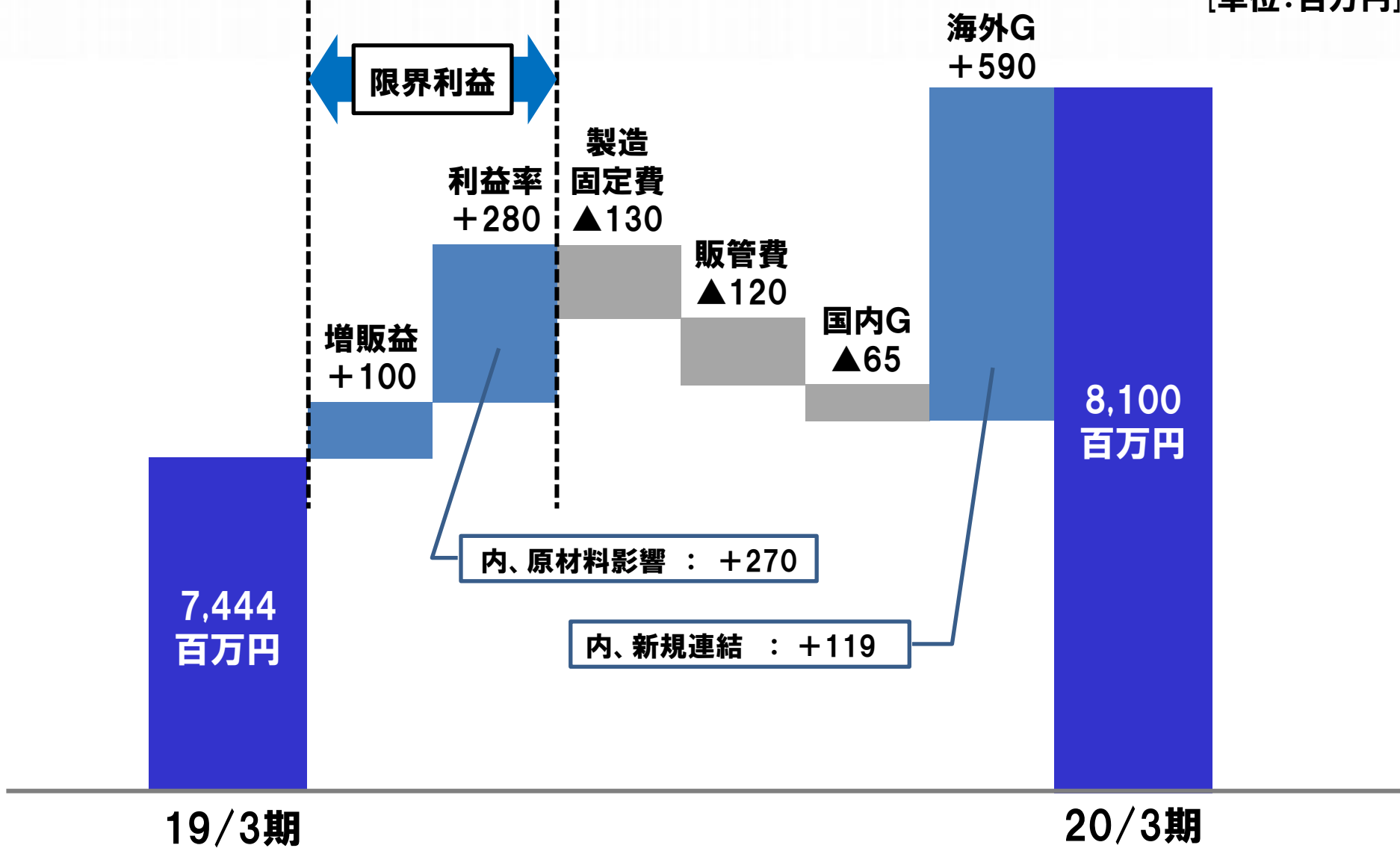
[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2019/3期 実績	2020/3期 計画	差異	2019/3期 実績	2020/3期 計画	差異	
化成品	109,062	108,700	▲ 362	7,444	8,100	655	金額
				6.8%	7.5%	0.6%	利益率
建装建材	82,300	86,300	3,999	16,169	16,600	430	金額
				19.6%	19.2%	▲ 0.4%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 2,779	▲ 2,900	▲ 120	金額
合計	191,363	195,000	3,636	20,834	21,800	965	金額
				10.9%	11.2%	0.3%	利益率

2. 利益増減計画(化成品) <19/3期vs.20/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

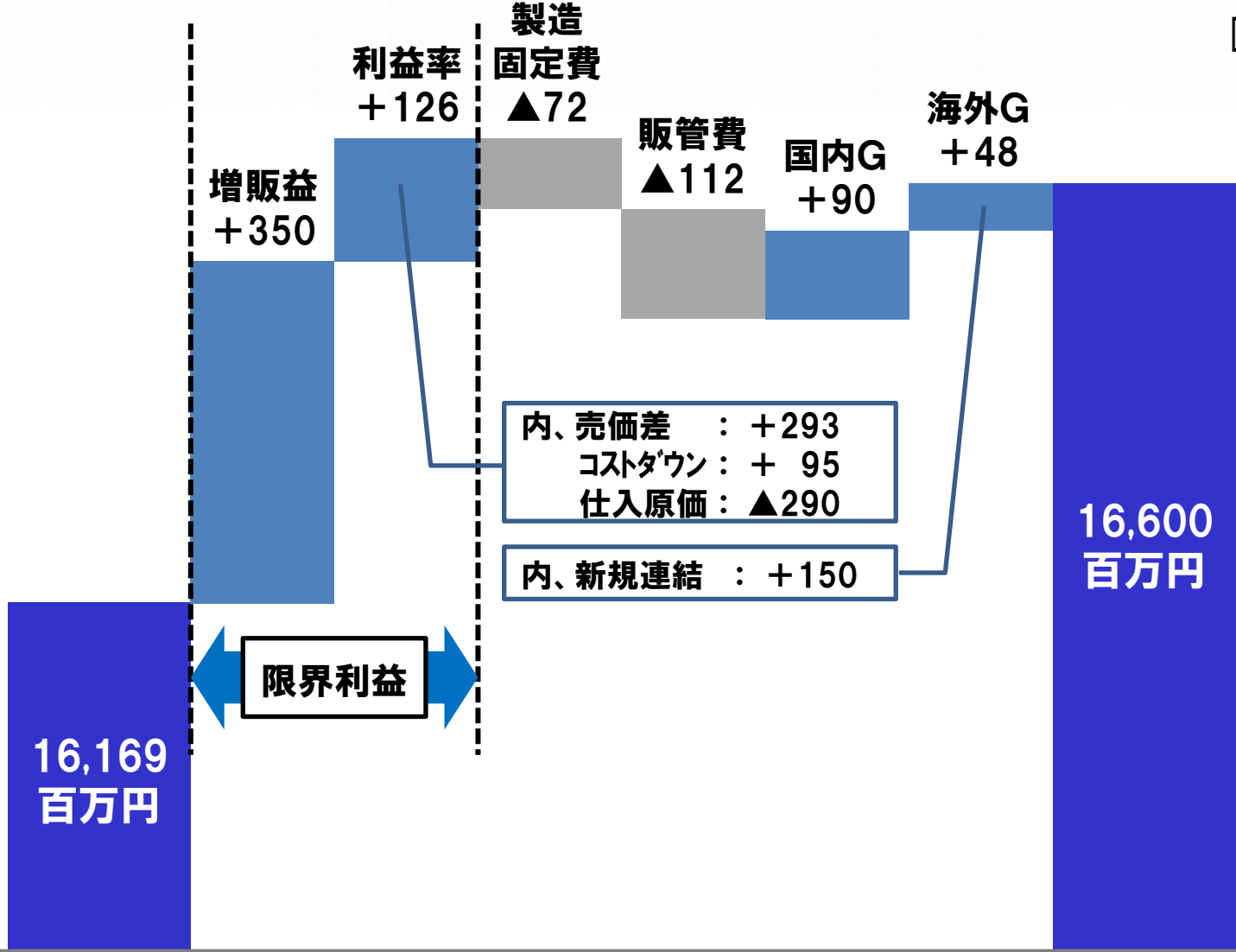
[単位:百万円]



2. 利益増減計画(建装建材) < 19/3期vs.20/3期 >

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



19/3期

20/3期

1. 2020年3月期 第2四半期実績
2. 2020年3月期 通期計画
- 3. セグメントの実績および方策**
 - 3-1 化成品セグメント**
 - 3-2 建装建材セグメント**
4. 中期経営計画C & C2000の進捗
5. 配当について

化成品 商品群別売上計画(連結)

	2019/3期(実績)		2020/3期(実績・計画)			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
接着剤	307.0億円	659.2億円	315.7億円	2.8%	670.0億円	1.6%
AAP	240.9億円	521.1億円	248.6億円	3.2%	530.0億円	1.7%
建設樹脂	46.4億円	95.8億円	46.8億円	0.9%	98.0億円	2.3%
機能材料	115.8億円	231.6億円	100.8億円	▲ 13.0%	217.0億円	▲ 6.3%
その他	52.4億円	103.9億円	50.1億円	▲ 4.4%	102.0億円	▲ 1.8%
合計	521.7億円	1,090.6億円	513.4億円	▲ 1.6%	1,087.0億円	▲ 0.3%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

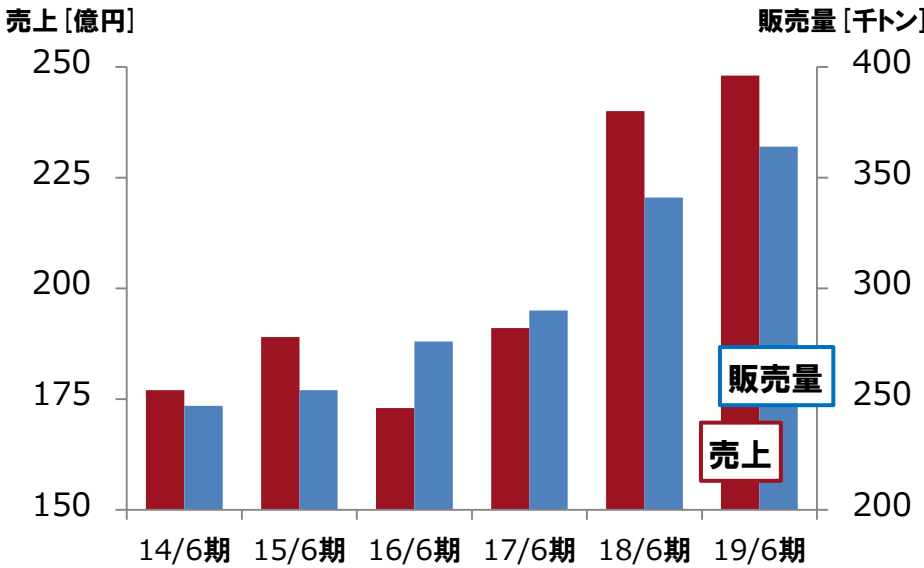
3-1 化成品セグメント 実績(接着剤 海外)

接着剤 海外:好調

■新規連結効果とシナジー効果で増収

- ・原材料価格低下に伴う売価低下
- ・TCC新規連結効果19億円寄与(1Q分)
- ・AAP×AICAシナジー、13億円実績化
(機能材料事業含む)

アイカ・アジア・パシフィック(AAP)の売上・販売量の推移



中国

- 竹用フェノール樹脂 好調
- 販売数量 高止まり 製造能力増強の為
ダイネア南京社隣地「南京鐘騰社」買収

インドネシア

- アイカインドリア社第4工場 稼働開始
- 含浸紙輸出 低調

タイ

- TCC社新反応釜 稼働開始
(日本のフェノール樹脂技術 シナジー)
- 繊維板用樹脂競合激化 低調

接着剤海外 売上:252億円(対前年102.8%)

一部景気減速、原材料価格低下による売価低下を、新規連結効果で挽回

※TCC:タイ・ケミカル・コーポレーション ※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

接着剤国内:好調

■施工用接着剤 好調

- ・セラル専用接着剤 好調
- ・Q-CAT(外装タイルと有機系接着剤の組合せ品質認定制度)適合接着剤* 好調

安全
安心



※接着剤: SE-35H, SE-35

環境配慮



■木工・家具用接着剤 好調

■産業用フェノール樹脂 低迷

- ・合板用・建材用フェノール樹脂 好調
- ・その他用途フェノール樹脂 低迷

建設樹脂:好調

ジョリパット(塗り壁材)



■好調

- ・新デザイン* 好調
- ・リフォーム向け* 好調

ジョリエース(塗床材)



■好調

- ・食品工場向け* 好調
- ・住宅ベランダ用途 好調

ジョリシール/ダイナミックレジン (補修・補強分野)



■低迷

- ・シール材* 好調
- ・インフラ補修補強材* 低迷

接着剤国内 売上:63億円 (対前年103.1%)

建設樹脂 売上:46億円 (対前年100.9%)

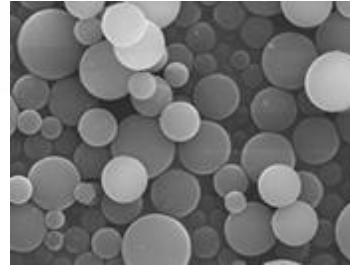
3-1 化成品セグメント 実績(機能材料)

ホットメルト・機能性アクリル



- 低迷**
- ・ヘッドランプ用シール材
衛生材用途 → 好調
- ・太陽光パネル用途 → 低迷

有機微粒子



- 低迷**
- ・化粧品用途遅延 → 低迷
- ・海外向け光拡散材 → 低迷

UV樹脂・シリコーン



- 好調**
- ・シリコーン → 好調
- ・電子材料用途 → 好調

アクリル・コンパウンド



- 低迷**
- ・塗料用途 → 低迷
- ・繊維用途 → 低迷

エバモア社



- 減収増益**
- ・ウレタン製品 → 靴用途高付加価値品ベトナム向け輸出好調
- ・AICA×EMCシナジー → 2.2億円のビジネス創出
- ・売上高:52.3億円 営業利益:3.1億円

機能材料事業売上：100億円（対前年87%）

アイカ工業単体・・・好調

エバモア社・・・減収、高利益ビジネス増

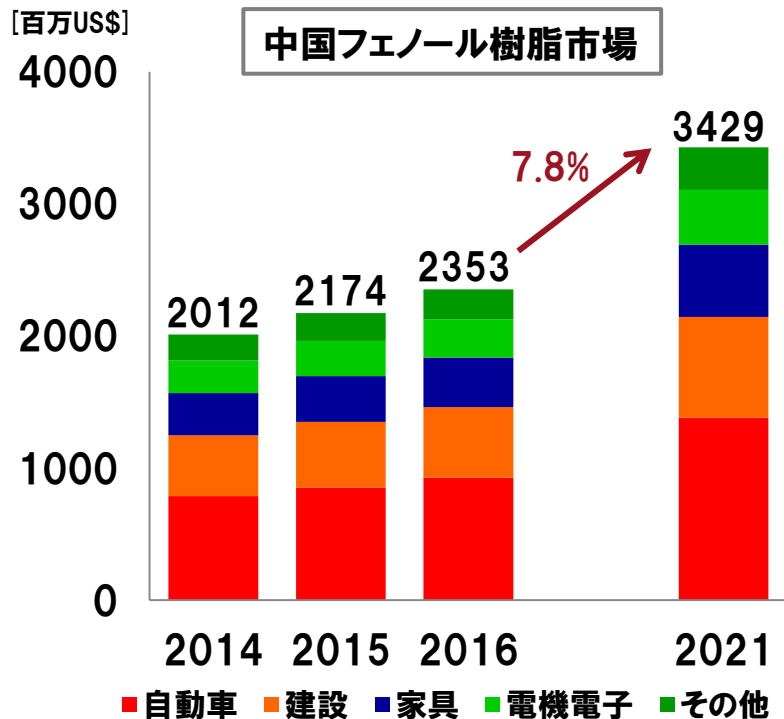
※エバモア社:エバモア・ケミカル・インダストリー

3-1 化成品セグメント 方策(接着剤 海外)

海外

中国ビジネスの拡大

中国のフェノール樹脂の市場は金額ベースで
2021年まで年率7.8%で成長する予想



南京鐘騰(Zhong Teng)社の買収

対象会社	南京鐘騰(Zhong Teng)化工有限公司
設立	2006年1月
事業内容	化成品の製造販売
事業拠点	中国南京化学工業園区 (AAPダイネア南京社の隣)
目的	ノボラック型フェノール樹脂工場建設 レゾール型フェノール樹脂製造設備増強 機能材料事業製品の製造設備増強 メラミン化粧板生産工場建設の検討
買収価額	約13.3億円
出資比率	ダイネア南京社 100%
取得時期	2019年9月

海外接着剤 通期売上計画：540億円（対前年101.5%）

フェノール樹脂ビジネスの拡大

接着剤 国内

- フェノール樹脂を中心とした複数商品の納入

接着用途

フェノール樹脂



合板工場



フロア台板
練り合わせ

酢酸ビニル樹脂

単板横はぎ
ホットメルト



抜節埋め
パテ



建設樹脂

- ジョリパット(塗り壁材)

⇒ (株)装武との資本業務提携

- ・大手ハウスメーカー外壁改修塗装工事の請負
- ・省施工型新商品、改修向け新商品の開発



- ・1989年設立
- ・売上高:955百万円
- ・昨年度約1,400棟の住宅外壁塗装工事実績有
- ・高いジョリパット施工技術保有
- ・出資比率:アイカ工業40%

- ダイナミックレジン(補修・補強分野)

⇒ クリアガード工法のクライアント活動

接着剤国内 通期売上計画 : 130億円 (対前年102.0%)

建設樹脂 通期売上計画 : 98億円 (対前年102.3%)

3-1 化成品セグメント 方策(機能材料)

エバモア社、ベトナム2社を買収し成長投資



対象会社	U-Best社・上曜社
事業内容	ウレタン樹脂の製造販売
事業拠点	ベトナム ドンナイ省(2社は隣接)
目的	靴メーカーの現地需要取り込み
買収価額	約9.8億円(2社の単純合算)
出資比率	エバモア社 100%
取得時期	2020年1月(予定)

- U-BEST社、上曜社(ホーチミン近郊)
- エバモア社(台湾/南投、中国/東莞、上海)

機能材料事業 通期売上計画：217億円（対前年93.7%）

建装建材 商品群別売上計画(連結)

	2019/3期(実績)		2020/3期(実績・計画)			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
メラミン化粧板	80.6億円	173.4億円	89.8億円	11.4%	202.0億円	16.5%
ボード等 フィルム	64.9億円	137.3億円	62.1億円	▲ 4.4%	132.0億円	▲ 3.9%
セラール	91.6億円	197.0億円	100.9億円	10.1%	209.0億円	6.1%
不燃建材	46.7億円	97.4億円	47.7億円	2.3%	100.0億円	2.6%
カウンター ポストフォーム	76.2億円	163.5億円	79.5億円	4.3%	169.0億円	3.3%
建具 インテリア建材	26.2億円	54.1億円	24.6億円	▲ 6.0%	51.0億円	▲ 5.8%
合計	386.5億円	823.0億円	404.9億円	4.8%	863.0億円	4.9%

3-2 建装建材セグメント 実績

国内建設市場の市場環境

※アイカ需要期へずらし済み

期初予想	住宅: ±0.0%	非住宅: ▲1.8%
上期実績	住宅: +0.2%	非住宅: ▲1.3%
下期予想	住宅: ▲6.9%	非住宅: ▲6.0%
通期予想	住宅: ▲3.5%	非住宅: ▲3.6%

「1物件・複数商談」
家具/カウンター/壁/床
トータル販売の推進



プラウドモデルルーム

壁 セラール

天板 フィオレストーン

扉 メラミン扉

売上: 404億円 (対前年104.8%)

セラールは市場環境以上に伸長 タイルや天然石の代替需要取込

3-2 建装建材セグメント 実績

■ アイカインテリア工業新工場の本格稼働開始



- アイカインテリア工業 茨城工場
- 2019年3月稼働開始
- 総投資額 10億円
- 高級人造石「フィオレストーン」、セラミックタイル「ラミナム」のカウンター加工

ストーン事業(人工大理石+人造石+セラミックタイル)の売上高

2018年度上期 **19.5**億円 → 2019年度上期 **23.6**億円

セラミックタイル ラミナム
LAMINAM



高級人造石 フィオレストーン
Quartz Surface
Fiore Stone

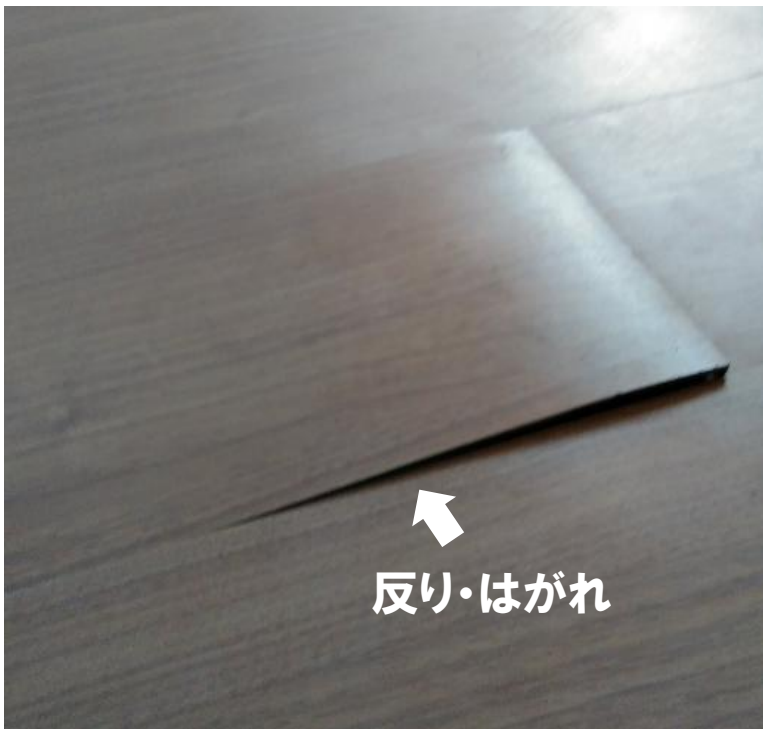


建装建材セグメント通期売上計画：863億円（対前年104.9%）

天然石市場 → 人造石・セラミックタイルへの置き換え需要取り込み

■ 化学技術の建材への応用

メラミン系床材が今まで普及しなかった背景



自動車等の繊維向けコーティング剤に使用される樹脂

床材に応用



反りを抑制



機能材料事業 & 建装建材事業 シナジー効果

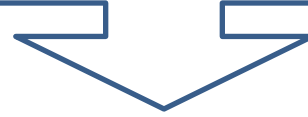
3-2 建装建材セグメント（メラミンフロアの開発）



セラミックタイルの欠点
・割れる ・重い ・施工しにくい



塩ビタイルの欠点
・汚れやすい ・ワックス掛けが必要



高圧メラミンフロアタイル

MELAMINE TILE

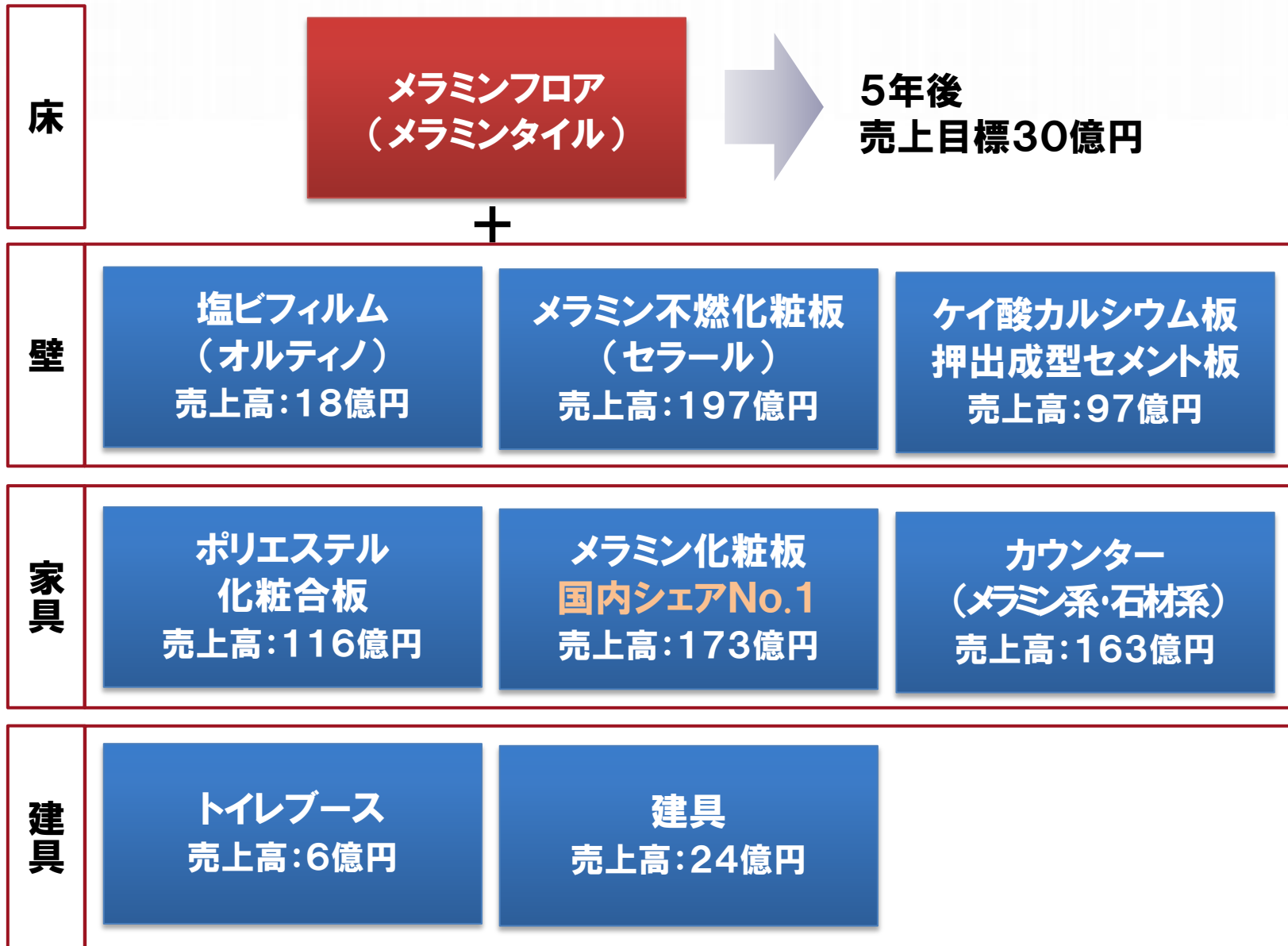
メラミンタイル

- 割れにくい
- 軽い
- ワックス不要
- 汚れにくい
- 汚れが落としやすい
- 簡易施工

<全く新しい床材が誕生>

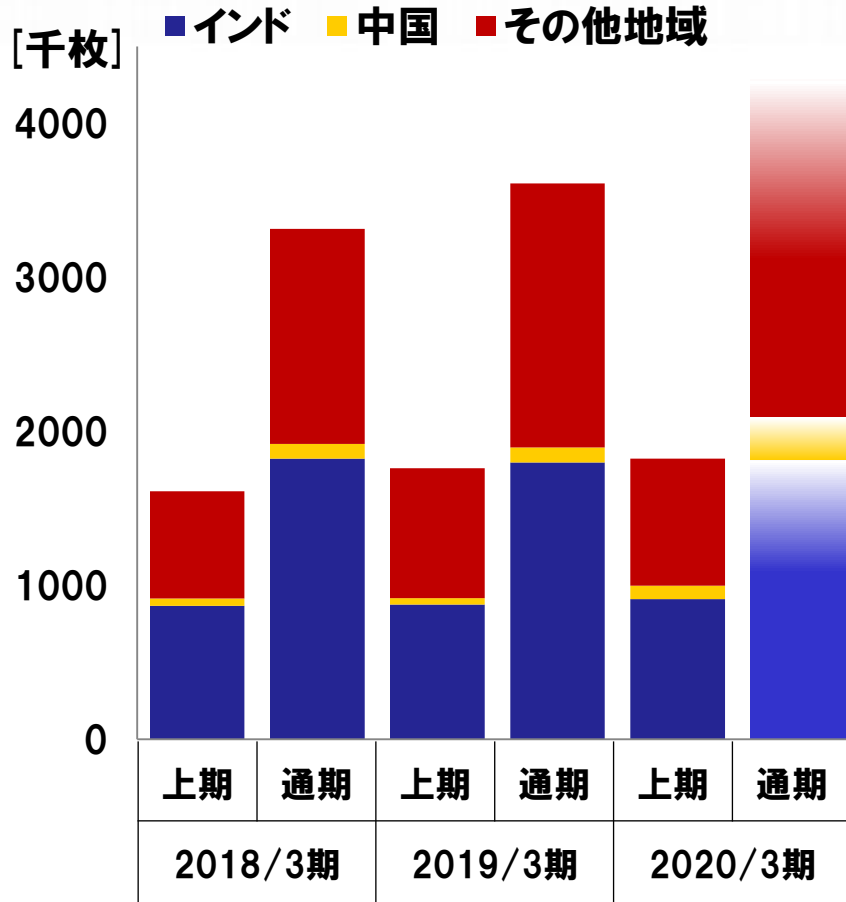
市場初の新商品の開発に成功

3-2 建装建材セグメント（メラミンフロアの開発）



3-2 建装建材セグメント 実績（海外）

メラミン化粧板 海外販売枚数の推移



販売網・製造能力の強化



アイカ・ラミネーツ・ベトナム(ALV)
 2019年5月 化粧板新工場 稼動開始
 投資額:約24億円
 海外のメラミン化粧板製造能力1.3倍に



ソイス社(上海市)
 2019年4月子会社化 売上高5.5億円(3ヶ月)
 中国主要地域の教育施設に強力な販路あり

メラミン化粧板海外販売

【枚数】 対前年106.9%

【売上】 33.7億円

3-2 建装建材セグメント (Wilsonart社の買収)

Wilsonart LLC (米国) が保有するアジアの事業会社4社を、
日本政策投資銀行(DBJ)と共同で買収



■買収対象先の概要

対象会社	Wilsonart LLCが保有するアジアの4事業会社
事業内容	化粧板、不燃化粧板等の製造販売
事業拠点	上海、香港、バンコク、シドニー
売上高	約92億円(2018年12月期、4社の単純合算)
経常利益	約10億円(2018年12月期、4社の単純合算)
従業員	約500名
出資比率	アイカ工業 51%以上 日本政策投資銀行(DBJ) 49%以下

■本件買収の目的

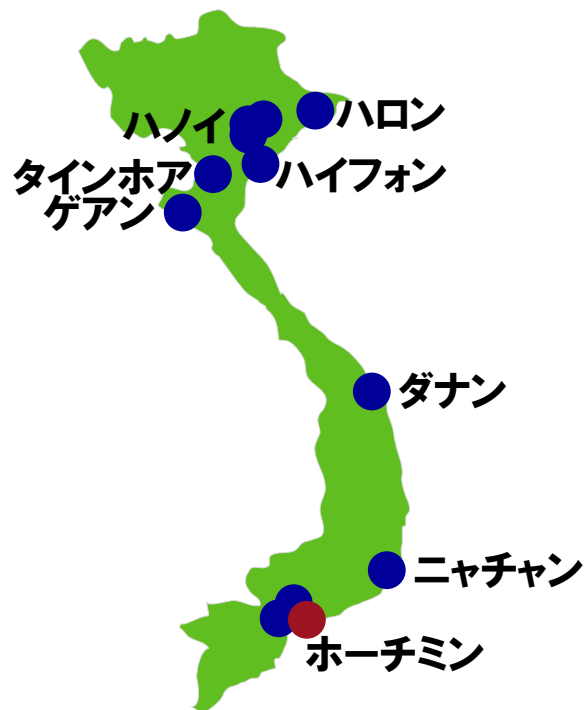
- 高いブランド力
- アイカグループと補完性のある生産拠点
- アジア広域の販売網

入手

成長するアジア市場 獲得

海外建装建材ビジネス 加速

3-2 建装建材セグメント (ベトナム化粧板商社の買収)



- 新設会社(AHT社)事業拠点
- アイカ・ラミネーツ・ベトナム(ALV)工場

CHIグループ各社の化粧板事業を譲り受けた
新設会社の株式取得・子会社化

対象会社	CHIグループ8社の事業を移管した 新設会社
新会社名 (予定)	AICA HPL Trading Joint Stock Company (AHT)
事業内容	メラミン化粧板の販売
事業拠点	ベトナム ハノイ(他事業拠点12ヶ所)
目的	ベトナムでの販路獲得
出資比率	AALH社 70%
取得時期	2020年2月(予定)
売上高	約18億円(2018年実績)

ベトナムのHPL市場シェア約3割の獲得

アイカ・ラミネーツ・ベトナム新工場の生産能力フル活用

※AHT: アイカ・HPL・トレーディング社 ※HPL: High Pressure Laminate(高圧メラミン化粧板)

※AALH社: アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社

3-2 建装建材セグメント (主要拠点)



現アイカグループ

- (Red circle) メラミン化粧板生産拠点
- (Red circle) 建装建材関連、その他会社
- (Orange circle) 化粧板以外の製品生産拠点

ウィルソナートAP各社

- (Blue circle) メラミン化粧板生産拠点
- (Blue circle) 販売会社

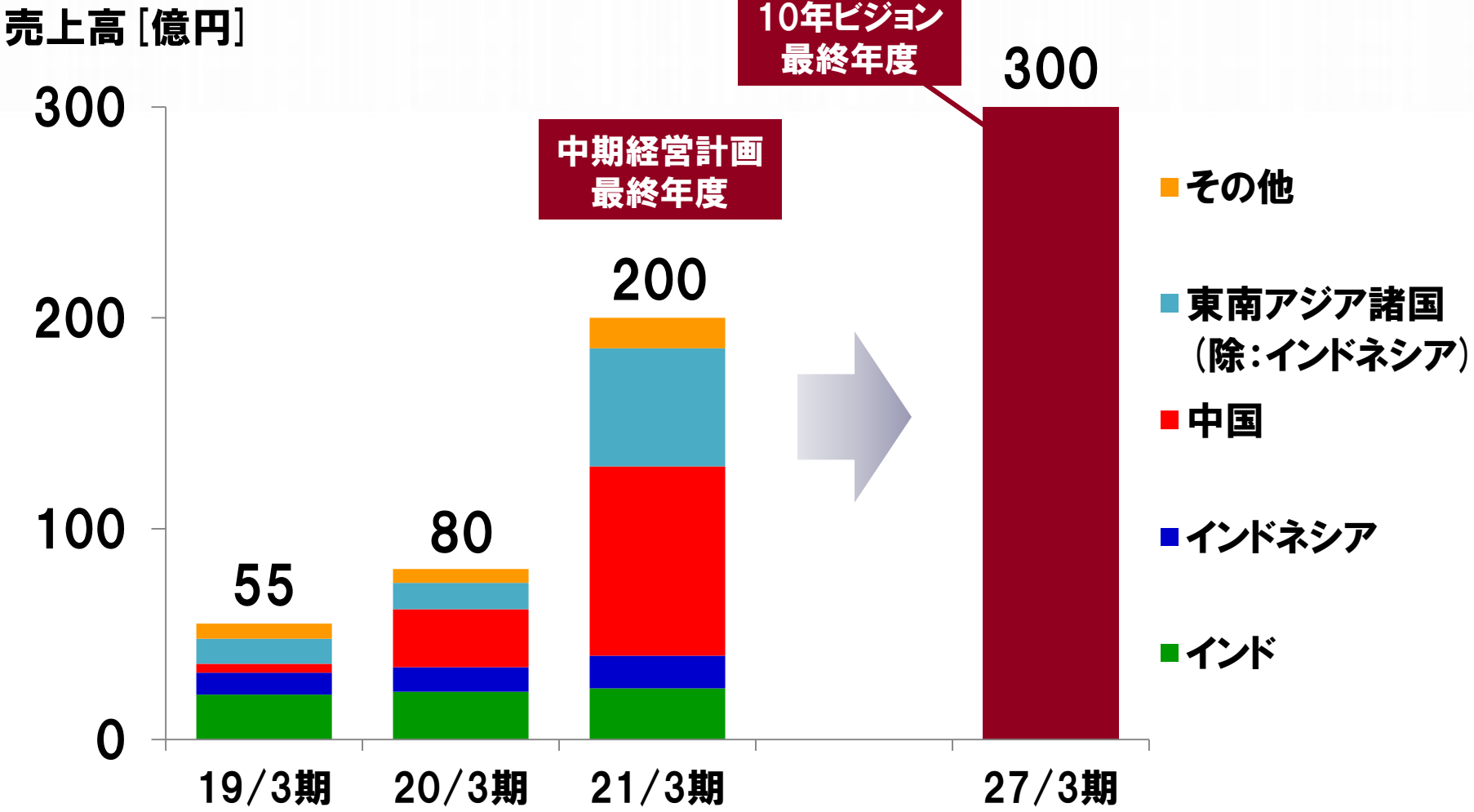
アイカHPLトレーディング社

- (Green circle) 販売会社

メラミン化粧板生産拠点

国内3拠点 + 海外4拠点 = 合計4カ国7拠点
 ↓
 国内3拠点 + 海外7拠点 = 合計7カ国10拠点へ

3-2 建装建材セグメント（海外）計画



【海外建装建材事業売上高】 19/3期実績 55億円 ⇒ 20/3期計画 80億円
 中期経営計画最終年度 200億円 10年ビジョン最終年度 300億円へ

1. 2020年3月期 第2四半期実績
2. 2020年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
- 4. 中期経営計画C & C2000の進捗**
5. 配当について

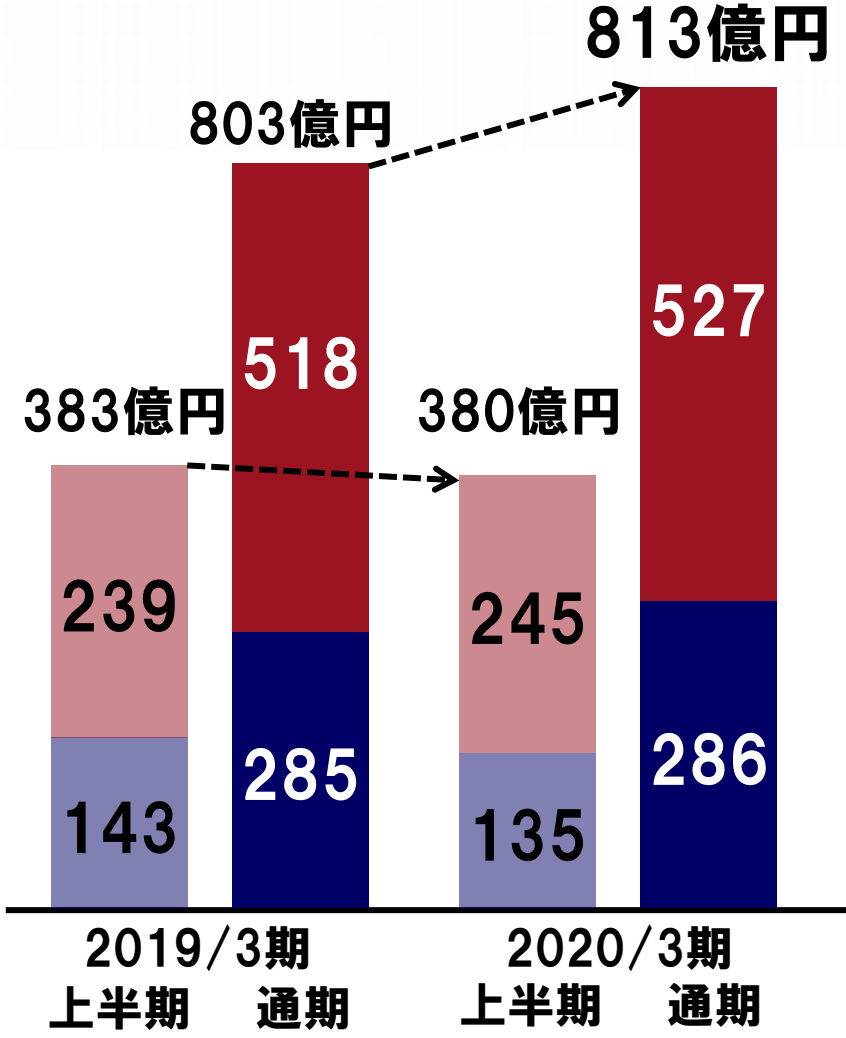
4. 中期経営計画 (2018/3期-2021/3期) の進捗



項目	2018/3期 (実績)	2019/3期 (実績)	2020/3期 (計画)	2021/3期 (当初中計)
売上高	1,637億円	1,913億円	1,950億円	2,000億円
経常利益	196億円	212億円	220億円	220億円
ROE	10.1%	10.7%	10.7%	10%以上
海外売上比率	33.4%	42.0%	41%以上	35%以上

中期経営計画 目標2,000億円(年率7%成長)
グループ一丸となり推進

4. 海外事業の実績および計画



アイカ・アジア・パシフィック (AAP)

- タイ・ケミカル社新規連結
- 繊維板用樹脂
- 産業用樹脂 需要取込
- 新規設備投資実施 (中国・インドネシア・タイ)

その他

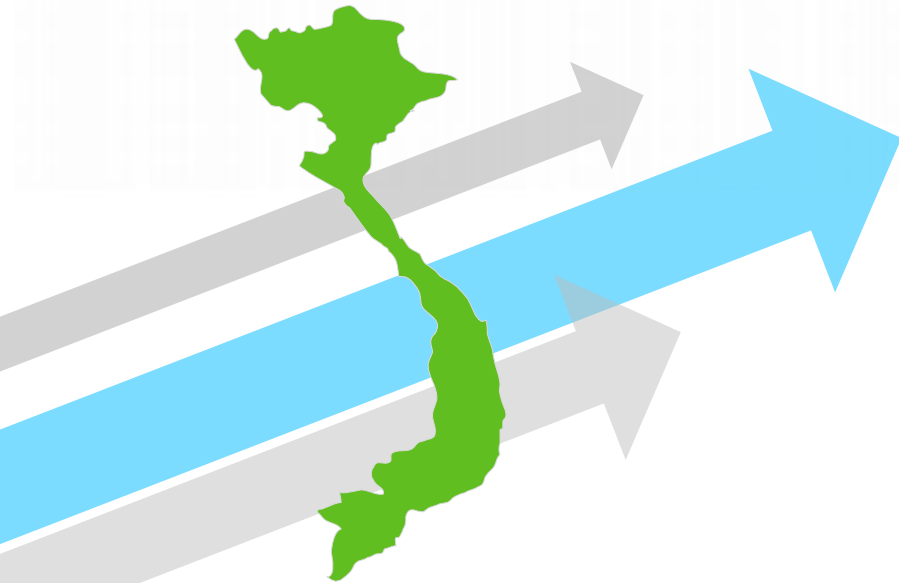
- エバモア社
- ウレタン樹脂・UV樹脂需要取込
- 中国ソイス社新規連結
- アジア向け化粧板強化

【海外売上比率 上期実績】 42.2% ⇒ 41.4%

【海外売上比率 通期目標】 42.0% ⇒ 41%以上

※AAP: アイカ・アジア・パシフィック

4.TOPICS ベトナムでの事業展開



ベトナム経済の成長

1. 若年齢人口率 高
2. チャイナプラスワン
3. 中産階級層 拡大
4. 外資系企業 投資増

⇒ 今後の成長持続

2008年10月	西東京ケミックス	化学品商社	化成品	販
2012年9月	アイカベトナム社	建設樹脂(ジヨリエース)	化成品	製 販
2012年12月	アイカドンナイ社(AAPグループ)	接着剤・繊維板用樹脂 (フェノール樹脂、 尿素樹脂、溶剤ゴム系、酢ビ、水ビ)	化成品	製 販
2019年5月	アイカ・ラミネーツ・ベトナム 新工場	メラミン化粧板・セラルール	建装建材	製 販
2019年10月	U-BEST社・上曜社(エバモア社)	機能材料(ウレタン樹脂)	機能材料	製 販
2019年11月	アイカ・HPL・トレーディング社(AALH)	メラミン化粧板・セラルール・ 化粧フィルム	建装建材	販

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック ※AALH:アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング

4. 中期経営計画 (2018/3期-2021/3期) の進捗



4年累計
投資計画

1年目
投資実績

2年目
投資実績

3年目
上期進捗

設備投資

220億円



45.2億円

78.9億円

39.3億円

事業投資

180億円



52.6億円

—

約140億円[※]

+

研究開発費

140億円



28.5億円

32.0億円

16.3億円

人財投資



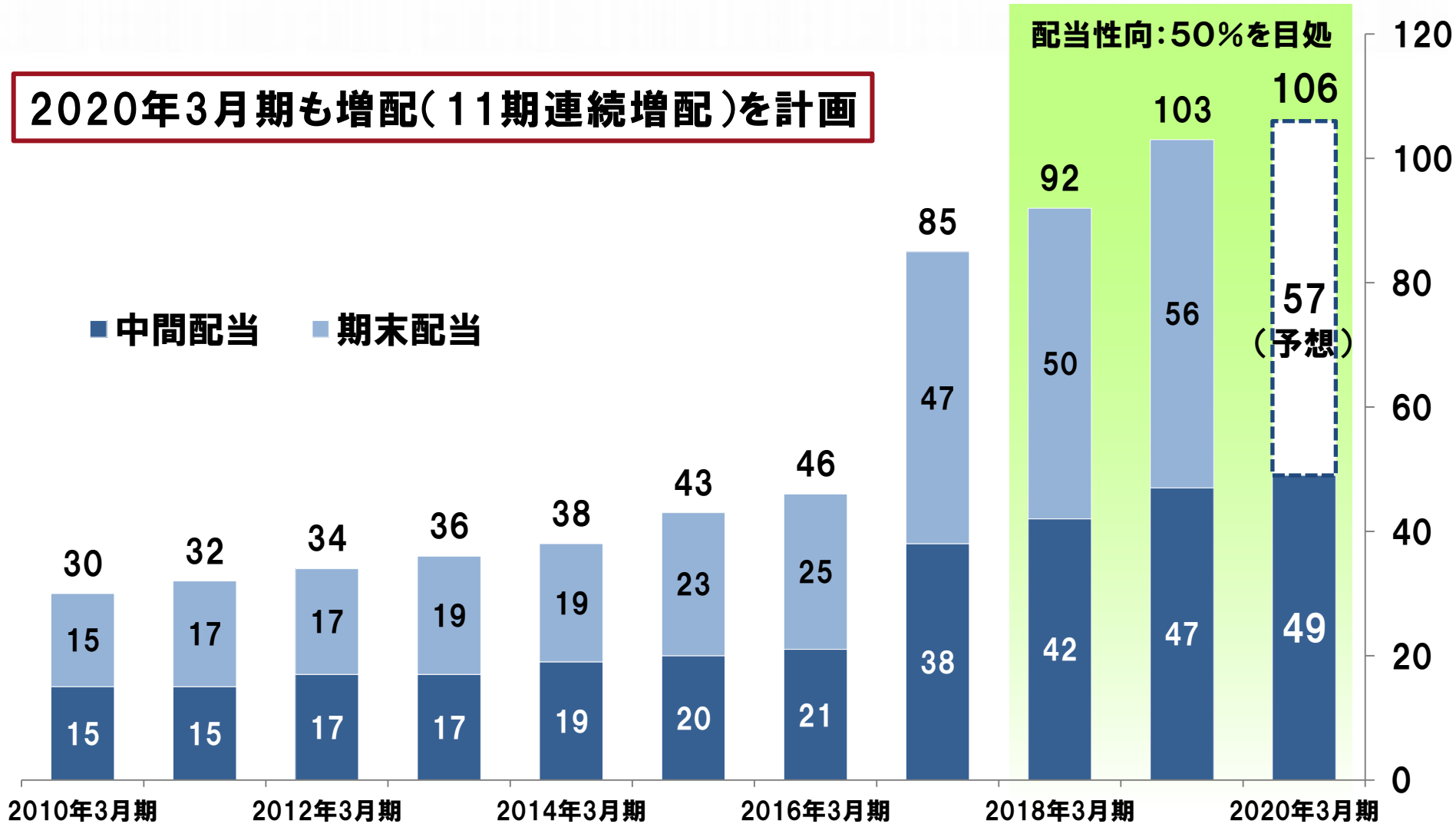
グローバル人材積極採用 / 育成・働き方改革
プロフェッショナル人材育成・ダイバーシティ推進

長期戦略実現に向け、積極的に投資を実行

目次

1. 2020年3月期 第2四半期実績
2. 2020年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 中期経営計画C & C2000の進捗
5. 配当について

2020年3月期も増配(11期連続増配)を計画



※2020/3期の期末配当は、現時点の予想値です。



C&C2000
CHALLENGE & CREATION

アイカ工業株式会社